

中央情報専門学校

学校自己評価報告書
(平成25年度)

目次（評価項目一覧）

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

(2) 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか

- 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

(4) 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5) 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6) 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

- 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

(11) 国際交流

- 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行われているか
- 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- 留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか
- 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

1. 学校の教育目標

〈建学の精神〉

21世紀の国際社会において、新しいビジネスを創造するクリエイティブな人材を育成する

〈教育方針〉

一人ひとりを大切に、各人の能力と個性を最大限に伸ばし開花させることを教育の基本とします。

授業は「親切・丁寧・わかりやすく」をモットーとします。

〈校訓〉

自主・創造・誠実 『自ら意欲的に学べ』

- ・ 自主 自分の頭でものを考え、自らの行動に責任を持つ。
- ・ 創造 自らの希望と夢を追及し、創造的に生きる。
- ・ 誠実 人との約束を守り、誠実に生きる・

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本年度においても、学生の成長（教育の成果）、教職員の成長、学園の成長という「3つの成長」を持続的に達成していくことを基本目標としつつ、社会の要請や時代の変化への対応を図っていく。

(1) 体系的なカリキュラムによるわかりやすい授業の展開

- ・ 教育方針に定めた「親切・丁寧・わかりやすく」授業を一層徹底するために、全教員の授業のスキルアップを図る努力を行うように指導する。特に、学生との対話型授業、学生参加型授業を行うよう推奨する。
- ・ 教育開発部による日々の授業の評価と改善のサポートや授業研究・モデル授業の研究等を通じ、教師としてのスキル向上やより良い授業を行うための情報共有を支援する。

(2) 学生指導の充実

- ・ 校長―副校長―学科長―クラス担任―教科担当の連携を一層密にし、ホームルームの活用及び学生一人ひとりに対する面談を通じ、親身になった支援・指導を行う。

(3) 進路指導

- ・ 学生の希望や適性、学力や能力等を考慮し、本人との面談や指導を通じ、進路目標をより明確かつ具体的にさせ、学生に対してきめ細かい指導を行う。

(4) 学生募集

- ・本校の教育理念・教育方針の深い理解を通じ、学ぶ意欲の高い学生が集まるように全教職員の力を結集し、学生募集の目標を達成する。

(5) 社会の要請や時代の変化への対応

- ①クールジャパン戦略を支え、高度化させていくクリエイティブな人材を教育・育成することは急務となっている。戦略策定を通じ、カリキュラム等の研究を行うとともに、各種準備を行っていく。
- ②実践的かつ高度な職業教育を実現するために、平成 26 年 4 月から情報システム学科にて「職業実践専門課程」の認定を受けている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
b	学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
c	社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
d	学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
e	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

②現状

- a. 学園創設者が明確化している経営理念と教育理念において育成人材像を明確にしており、理念にもとづき日々の教育活動を通して社会からの要請に応え、学生個々人の能力・個性を最大限に発揮できる指導を行っている。
- b. 職業教育においては、「親切・丁寧、わかり易く」を教育方針とし、学生参加型の授業を心掛けている。
 - ・ 情報系においては、基本情報技術者試験の IPA プログラムによる午前試験免除により、国家資格取得者の増大を図るとともに、情報検定試験 3 級取得を全学生に義務付けることにより、就職力アップを図っている。
 - ・ 日本語本科においては、日本語能力検定試験か留学試験の全学生受験を義務付けるとともに、各々 2 級または 200 点以上の取得を卒業要件としている。
- c. 日本経済のグローバル化の一層の進展及び日本の少子化が進展する中、いち早く留学生の割合を増加させている。
- d. 学校の理念等については、学生募集の際に、「学校案内」等に明記することを通じ、学生・保護者に対して周知を図っている。
- e. 情報系においては、産業界等のニーズに対応すべく、平成 26 年度 4 月から情報システム学科において文部科学省から「職業実践専門課程」の認定を取得した。

③課題と改善策

- ・ 経営理念、教育理念については、一層の徹底を図るためにも、少なくとも年 1 回は全教職員に周知徹底を行う。
- ・ 時代の要請に応えた学科編成等を臨機応変に行う必要がある。

(2) 学校運営

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
b	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
c	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
d	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
e	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
f	業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
g	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
h	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

②現状

- a.「学校運営及び教職員心得」にて教育理念、人事全般、授業内容、学生指導を明記し、年に1回以上教職員への研修にて徹底している。
- b.事業計画については、毎年運営方針にもとづき事業計画書として策定している。
- c.評議員会での意思決定事項は寄附行為において定めている。主要項目については理事会・評議員会にて決定している。通常の業務運営については理事長主導のもと、関係する管理職にて決定している。
- d.教務担当、財務担当者等を配置し、十分な協議のもと意思決定を行っている。
毎年4月に校務分担を作成し、徹底を図っている。
- e.人事考課制度、給与制度等規定は整備されている。
- f.法令遵守という狭義のコンプライアンスのみならず、社会規範遵守についても教職員に徹底を図っていると同時に、学生にも指導を行っている。
- g.学校ホームページによる教育内容の公開や自己点検内容、財務内容等の情報公開を実施している。
- h.システム開発により、学生の出席及び成績管理の実施並びに経費精算等の業務の効率化を図っている。

③課題と改善策

- ・人事考課制度において、目標管理による達成度評価を軸とした制度運営を十分に定着する必要がある。

(3) 教育活動

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
b	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
c	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
d	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
e	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
f	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
g	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
h	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
i	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
j	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
k	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
l	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
m	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
n	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

②現状

- a.一人ひとりを大切にし、各人の能力と個性を最大限に伸ばし開花させることを常に念頭に置き、教育課程の編成及び実施方策などを策定している。
- b.カリキュラムは、業界ニーズを踏まえた目指すべき人材育成像に従って、規定の修業年限における教育到達レベルに達することを目的に学習時間と共に作成されているが、各修業年限における到達レベルの明示的な文書化が課題である。
- c.カリキュラムは、卒業時に習得すべき知識・技能を念頭に基礎から応用まで段階的かつ体系的に構成されている。しかしながら現状ではカリキュラム作成において学科の意識は薄く、各学年及び一般クラス・選抜クラス毎のカリキュラム編成となっている。
- d.業界ニーズを常に意識し、カリキュラムや教育方法の工夫が常に行われている。また授業を改善するために教職員からの新たな提案なども活発に行われている。
- e.教育課程編成委員会に関連分野の企業・団体からの委員を迎え、客観的にカリキュラムを評価・見直しを行い、改善する作業が継続的に行われている。
- f.学生を目指すべき人材像に到達させるべく、修業年限内の教育について体系的に構築されている。

- g.年度内に3回、授業評価を実施し、授業改善のために情報を共有している。なお評価実施は、副校長及び学科長が行っている。また、学生による各授業内容、教員評価も行っている。
- h.教育課程編成委員会において各委員の率直かつ忌憚ないご指摘を常に受けつつ改良を行っている。
- i.成績判定会議、進級判定会議、卒業判定会議などの会議が定例的に行われ評価基準も明確である。
- j.各資格取得に関して、カリキュラム上明確な科目を設定し授業を行っている。また通常科目に組み込むことが時間割的に困難である科目については、特別授業を通常時間割とは別に適宜実施している。また特別授業の実施の可否及び利用教室の割り当てに関する手続きも明確に規定されている。
- k.本校が目指す実践的職業人育成のためには、技術指導が可能な実践経験豊富な教員の一層の充実が急務である。また高度情報処理技術者試験合格者が極端に少なく、知識面においても各教員の努力が求められる。しかしながら各教員の教育に対する意欲は旺盛であり、学生への指導において十分な教育が行われている。
- l.産業界から教員を招聘し、言語教育及び開発指導を行っている。実務経験豊富な企業の技術者による授業は、今後の成果を期待するところである。
- m.各教員に必要なと思われる研修などについては、積極的に参加している。また各種展示会などにも関連科目の教員を派遣し情報収集を行っている。
- n.各種研修会の内容を報告し情報共有するための報告会並びに授業改善のための研修会を定期的に実施している。

③課題と改善策

カリキュラム継続した見直し作業により、従来通りの一般クラス・選抜クラス毎のカリキュラムが徐々に効果を現わし始めているように感じている。今後はカリキュラムについて、学科別カリキュラムの作成を早急に検討し実施に移すことが必要であり、各学科において設定された目指すべき育成人材像に沿ったカリキュラムが作成されかつ実施されることが急務であると言える。

(4) 学修成果

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	就職率の向上が図られているか	4
b	資格取得率の向上が図られているか	3
c	退学率の低減が図られているか	4
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
e	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

②現状

- a.就職担当のベテラン教員を配置し、企業へのアプローチを強めている。その成果として校内企業説明会の実施などに留まらず、入学から就職までの一貫したアプローチを視野に入れた新たな形態の企業連携が生まれようとしている。
- b.サービス接遇・秘書検定・ビジネス実務マナー検定などのサービス系資格取得に関して大きな成果が挙げたと言える。情報系の資格に関しては、いわゆる J 検 2 級及び 3 級の合格者数が高い伸びを示した。
- c. 平成 25 年度における退学者は、例年になく増加した。平成 26 年度前期時点では、各種対策が功を奏し退学者はほとんどなく、低減したと言える。
- d.卒業後も母校として訪ねてくる学生や相談に訪れる学生が少なくない。これは本校の真の強みに繋がる事柄であると受け止めている。担当者による卒業生に関する追跡調査が綿密に行われていることが大きい。
- e.卒業後の学生との太いパイプにより、事後に改善すべき点に気付かされることも多い。改善すべき事項は直ちに検討し、その結果をもって実施すべき事項は実施されている。

③課題と改善策

入学から就職までの一貫した道筋を入学者と企業の双方に示す戦略は、優秀な学生募集及び就職率の向上共に効果的であると思われる。本校において特色ある教育を行い、高い就職率を実現するための極めて具体的な方策であるとする。

(5) 学生支援

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか	4
c	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
d	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
e	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
f	学生の生活環境への支援は行われているか	4
g	保護者と適切に連携しているか	3
h	卒業生への支援体制はあるか	3
i	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
j	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

②現状

- a. 学生の進路については、副校長・就職部長・学生指導担当・クラス担任による進路指導会議を定期的開催し、個人別に進路指導方針を協議している。また、就職の具体的活動（履歴書の書き方など）は授業カリキュラムに組み込んで指導を実施している。
- b. 学生相談については、学生指導担当を中心に教員同士で連携して取り組んでいる。ほぼ全教員が学生の状況を把握している。
- c. 日本学生支援機構の奨学金を学生に周知を図っている。当校の年間学費は学則上も 78 万円と他校比割安な水準にあり、また、分納（原則 2 回）も認めている。
さらに全学生に大幅な学費減免を行い、学生の経費負担を軽減している。
- d. 定期健康診断を毎年 5 月に学校行事として確実に実施し、再検査が必要な学生には再受診を実施している。また、学生指導担当及びクラス担任が連携して健康管理にも対応を行っている。
- e. 課外活動は埼情協主催ホームページコンテストへの参加や文化祭の実施、東京ディズニーシー見学等の行事を定期的実施している。
- f. 学生のアルバイト調査、遅刻・不登校の学生への住所訪問の実施等により、学生の生活が乱れ学習に影響が出ないように注意をはらっている。
・提携不動産管理会社による学生寮の使用を開始し、学生からの評判も良い。
- g. 不登校などの問題のある学生の保護者とは、携帯電話まで把握し、随時または定期的に連絡を実施しているが、その他の学生の保護者とは接触の機会は少ない。
- h. 卒業生からの希望に応じ個別に資格取得のためのフォローや再就職の支援、留学生のビザ更新等実施している。

- i. 埼玉県の人社会人委託職業訓練において医療事務、IT基礎講座等を受託しており、社会人のニーズに込えている。
- j. 情報システム学科において職業実践専門課程の認定を受けたことに伴い、高校との連携を行う体制の整備を図っている。

③課題と改善策

- ・学生相談を行う教員のカウンセリング研修等を実施する。
- ・同窓会組織等卒業生に対するフォローが十分に実施されているとはいえないが、体制を構築していく。
- ・高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組の早期具体化を図る。

(6) 教育環境

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
b	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
c	防災に対する体制は整備されているか	4

②現状

- a.現在の学生数に対する講義室及び実習室の数は充足している。また実習室は、今後継続して増設する予定であり、実践的職業人教育に必須である実習の充実は著しい。
- b.インターンシップ参加時の出欠の取り扱いについて明確にすべき事項が残されている。今後企業連携を推進するにあたって、学生に不利になることの無いように規定する必要がある。
- c.防災担当責任者を配置し、防災に対する準備がなされている。また、教職員による消火訓練も実施している。

③課題と改善策

教育環境は、徐々により良い環境へと変化しつつあり、改善が目覚ましい。一方、自習室・図書室の整備など、今後意欲ある学生に対するケアとして必要となる事項も残されている。

(7) 学生の受入れ募集

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	学生募集活動は適正に行われているか	4
b	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
c	学納金は妥当なものとなっているか	4

②現状

a.学生募集活動は適正に行われている。

b.募集対象となる高校・日本語学校訪問において、本校の教育内容を伝えると共に、来校を促し多くの学生が模擬授業を体験した上で本校への入学を決めている。また Facebook などでの広報活動が盛んに行われており。本校教育内容のみならず学生諸氏の楽しいそうな学内での様子が掲載されている。

c.本校の学納金は、他校と比較して安価である。

③課題と改善策

特になし

(8) 財務

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
c	財務について会計監査が適正に行われているか	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか	4

②現状

a.1987 年学園創立以来 27 年目を迎え、学園の経営基盤の基本である財務基盤は、毎年着実に強化され、安定したものとなっている。

・平成 23 年 4 月に東京都豊島区に開校した早稲田文理専門学校の学生募集も順調に推移しており、学園の財務基盤の安定に資するものとなっている。

・今後数年以内に理想とする無借金経営を実現することを目指している。

b.予算・収支計画は無理のない実現可能な計画を策定している結果、予算と実績の間に大きな差異は発生していない。

c.会計監査は、会計の専門家である税理士に監事としての監査を毎年適正に行ってもらっている。

d.常に最新の財務状況を公開しており、公開の体制はできている。

③課題と改善策

特になし

(9) 法令等の遵守

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
b	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3
c	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
d	自己評価結果を公開しているか	4

②現状

- a.寄附行為・経営理念・教育理念等において法令・専門学校等設置基準等の遵守について明記されており、教職員研修会やオリエンテーション実施時に徹底を図っている。
- b.個人情報保護方針を策定しており、それに基づき各種対策を実施している。その結果、個人情報漏えい事故は発生していない。
 - ・規定及び業務マニュアルは現在整備中である。
 - ・教職員・学生等に対する啓発活動は会議・授業等において実施しているが、実施をした記録・証跡を得るためにも、今後の啓発活動時にはテストやアンケート等を行うことも視野に入れる。
- c.自己評価にあたっては、学校長を委員長とする「自己点検評価委員会」が中心となり、文部科学省発「専修学校における学校評価ガイドライン」(平成 25 年 3 月)に準拠する形で、毎年定期的に実施している。
 - ・自己点検評価結果は、関係者にフィードバックして問題点の改善に努めている。
- d.自己点検・自己評価結果は内容的に充分とは言えないが、中央情報学園のホームページに掲載することにより公開している。

③課題と改善策

- ・個人情報保護に関する業務マニュアル等の作成を行っていく。

(10) 社会貢献・地域貢献

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
b	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
c	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

②現状

- a.新座市、志木市主催のパソコン教室等、講師・施設の提供、TOEIC、社会人委託訓練事業等、広く企業・地方公共団体等と連携し、地域社会と関わりを持っている。
- b.授業等においてボランティア活動に関する啓蒙活動は行っている。東日本大震災時には一部の学生が現地での復興作業に従事した。
- c.新座市、志木市主催のパソコン教室や、埼玉県社会人委託訓練事業等を積極的に受託し実施している。

③課題と改善策

特になし

(11) 国際交流

①採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
a	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行われているか	4
b	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
c	留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか	4
d	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

②現状

- a.海外の留学生受入れについては、多国籍を意識した戦略的な対応を従前より行っている。
- b.留学生の受入れ等については、万全な体制でとり行っており、問題はない。
- c.留学生指導については、クラス担任と専任の学生指導教師が協力をして、コミュニケーションを図りながら学生にきめ細かい対応を行っている。
- d.成果の評価については、今後の課題としたい。

③課題と改善策

- ・学習成果の国内外における評価については、今後の課題とし、今後ホームページ等を活用した情報発信等を行っていきたい。